

統計アラカルト

熊本の統計情報 令和 7年 6月 27日

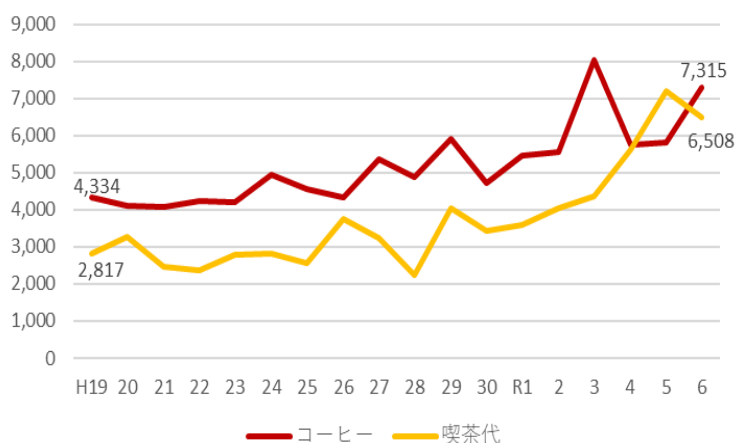
県民の皆様には統計を身近に感じていただくためのページです。

随時、色々な統計に関する話題・データを紹介します。

皆さんは普段、コーヒーを飲んでいますか？コーヒーに含まれているカフェイン、ポリフェノールなどの成分は、集中力を高めたり、気分をリラックスさせてくれるだけでなく、糖尿病の予防や心疾患リスクの低下など、健康維持にも効果が期待できるといわれています。最近では街中でもおしゃれなカフェやコーヒーショップをよく見かけるようになりました。かくいう私も大のコーヒー好きで、おいしいコーヒーを淹れることが毎日の楽しみです。今回は、そんなコーヒーにまつわる統計データを紹介していこうと思います。



熊本市における1世帯当たりの年間支出金額の推移



「家計調査結果」(総務省統計局)

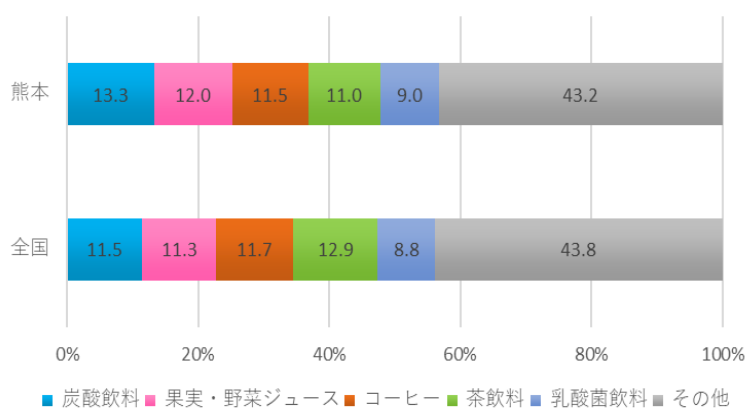
左のグラフは、熊本市の二人以上の世帯におけるコーヒーと喫茶代への支出金額の推移です。どちらの項目も平成19年からおおむね増加傾向にあります。

注目したいのは令和2年から5年の期間。令和2年から3年にかけて、コーヒーの支出額が大きく伸びています。この時期は新型コロナウイルスの感染拡大で外出が制限された時期です。自宅で過ごす時間が増え、コーヒーを自分で淹れたりして飲む人が増えたことが予想できます。しかし令和3年から5年にかけては、コーヒーの支出が減少した一方で喫茶店での支出が大きく増えています。感染拡大が落ち着き、外出できるようになったことで、喫茶店で過ごす人が増え、逆に自宅でコーヒーを飲む人が減ってしまったようですね。

右のグラフは、令和6年における1世帯当たりの飲料の年間支出金額の割合を全国と熊本市で比較したものです。

熊本市の家庭におけるコーヒーの支出は全体の11.5%で、全国と比べてもあまり変わらないようです。ほかの品目についても見てみると、熊本市では茶飲料の割合が全国と比べて少なく、炭酸飲料やジュースの割合が多いことがわかります。昨年熊本県では雨が多く、熊本市では観測史上最高気温を記録しました。夏の蒸し暑さの影響で炭酸飲料などの需要が高かったのかもしれませんね。

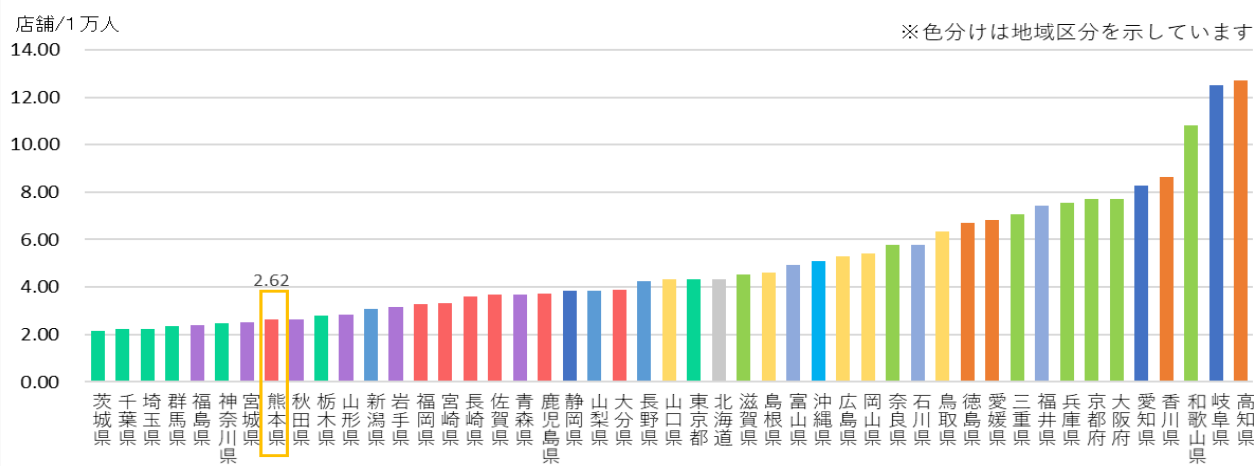
一世帯当たりの飲料の年間支出金額の内訳



「家計調査結果」(総務省統計局)



都道府県別 1万人当たりの喫茶店数



総務省・経済産業省「令和3年経済センサス-活動調査結果」

熊本県内の喫茶店の数も見ましょう。上のグラフは各都道府県における喫茶店の店舗数を人口1万人で割った数を表示しています。令和3年に行われた経済センサス活動調査によると、日本国内の喫茶店の数は58,669店舗、そのうち熊本県所在の喫茶店は444店舗でした。1万人当たりの喫茶店数は2.6店舗で、全国で40番目という結果でした。これはコーヒー好きの私としてはショックです。ちなみに人口当たりの店舗数が最も多いのは高知県で、1万人当たり12.7店舗でした。ほかの県についても見てみると、高知県のほかにも香川県や愛媛県、徳島県といった四国地方の県や、和歌山県、大阪府、京都府など近畿地方の府県はいずれも上位に入っています。逆に東北、関東、九州地方の県は下位に来ていることが多いようです。喫茶店の数で地域によってはっきり差が出るのはなかなか興味深いですね。



いかがでしたでしょうか？今回はコーヒーをテーマに様々な統計を紹介しましたが、人々の生活の様子や地域の特徴がデータとして表れていて面白かったのではないのでしょうか？皆さんも身の回りのことやふと気になったことについて、おいしいコーヒーを片手に統計を眺めてみてください。

そして、今年5年に一度、日本に住むすべての人を対象とした**国勢調査**が実施されます。100年以上の歴史を持つわが国で最も重要な統計調査です。郵送での回答のほかにインターネットでの回答もできますので、ぜひ調査にご協力ください！



いざ、**国勢調査!**

5年に一度、全員参加の統計調査

国勢調査2025

調査期日 **10.1**

<https://www.kokusei2025.go.jp/>

総務省統計局・都道府県・市区町村

問合せ先: 熊本県企画振興部交通政策・統計局統計調査課 総務資料班 〒862-8570 熊本市中央区水前寺6-18-1

電話: 096-333-2174 / Fax: 096-384-7544 / メール: toukeichousa@pref.kumamoto.lg.jp